

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

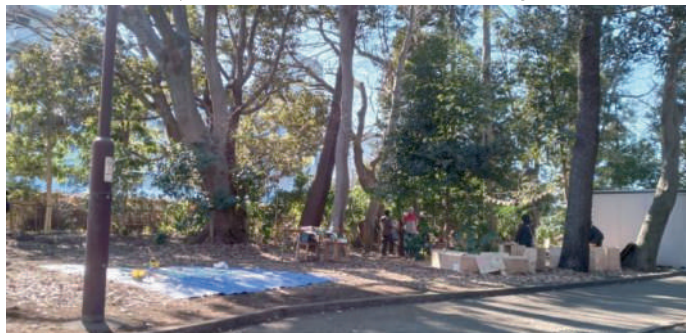
<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



まつばやと冒険遊び場見学訪問

松葉谷戸公園の冒険遊び場が1月29日に開設されました。名称は、「まつばやと冒険遊び場」とされています。これまでに本格開設のために何度も当地でプレ開催してきた人々(松葉谷戸に冒険遊び場をつくる会)の努力のたまものでしょう。駐車場は設置されていないことで、隣接する都営住宅のコイン駐車場に留めました。子どもの訪問者には施設内に駐輪場が置かれていました。近場の小学校は南第三小、南第四小になりますが、他の児童や訪問者はJR横浜線成瀬駅の南口から出る金森地区コミュニティバス・成瀬駅ルート(かわせみ号)も利用できます。なお、トイレは公園の入り口にあります。



開催日は水、木、土、日の四日間で、開催時間は、10-2月が10:00-16:30、3-9月が10:00-17:00となっています。冒険遊び場には大人のプレイリーダーがいて、子どもが楽しく遊べる手助けをしています。説明書には、「プレイリーダーは、こどもの遊ぶ環境を整え、自由に遊ぶこどもを見守り、時にはこどもと遊びながら、一緒に考え、一緒にチャレンジする遊び仲間です」と書かれています。

町田市は、このまつばやと冒険遊び場を含めて、市内全域で5カ所の常設冒険遊び場(週4日開催)を確保し、それぞれの地域で支援団体が運営を担当しています。町田市職員が運営する子どもセンターとは異なり、民間団体がそれぞれに活動補助金を使った運営を行っているのが特徴です。



そもそも、私は過去に世田谷区の例をもとに、プレイパークとして提起していたのですが、町田市では行政ではなく、純民間の力(完全ボランティア)で成瀬三ツ俣の民有地に開設されたのがスタートです。事業の性格から公的な支援が必要でしたが、当時は実らず、土地を地主さんに返すことが必要になったことで、その施設は閉鎖を余儀なくされたものです。現在の冒険遊び場の整備・運営は当時に比べると支援の体制が出ていますが、子ども政策重視の観点から、もっと人的支援が必要でしょう。なお、市内の冒険遊び場は、上記の5カ所のほか、定期開催型冒険遊び場と言うものもあり、月1-5回開催するところもあります。いずれ、それらも常設化を目指すべきものでしょう。

◎町田市で、水耕栽培メロンの世界一決定戦を開催しよう!

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、
春季の第51期生を募集開始

東京オリンピックの遺産と負債

東京オリンピックは1昨年7-8月、無観客で実施、数々の選手記録を残しましたが、多くの課題や問題点を残し、オリンピック委員会が6月末解散し、本年3月で清算予定です。

レガシー(遺産)という言葉が多用されましたが、まず挙げられるのは、残ったものは膨大な施設と今後のその運営費負担の規模でしょう。その意味では「負の遺産」とも言えるものになっています。次いで、このオリンピック開催で新規の文化的、技術的なものが生み出されたかと言えば、前回大会が東海道新幹線と首都高速道路を誕生させたことに比べると、この間にはバーチャルと呼ばれる技術が進歩してくらいでしょう。

その後のオリンピック開催にまつわる事件では、業務受注にかかわる企業と委員会の幹部の贈収賄の汚職事件となり、最近ではその本体である電通が受注調整談合の中心と見なされてきました。取り調べは、テスト大会の事業者選考の問題にされていますが、その段階で受注すれば、本大会の受注がそのまま引き継がれる見込となり、その大半の発注・受注業務は不問とされるのでしょうか。電通が、発受注の仕切り役と言う役目を果たしたわけですが、競争を尽くすべきオリンピックが背景では企業相互の調整で決していたという情けない教訓でした。



オリンピック閉会后、ミュージアム入り口

町田市議会の一般質問と通告日

国会の質問は、議員が政府に対して質問日の2日前までに通告をしようと言う慣例があるようですが、それがなかなか守られないために、官僚が徹夜で答弁書を作成するということが度々問題になっています。



行政職員によるヒアリング風景

町田市議会では、そうした例示は見当たりません。特に、最近では町田市は行政側が議員に質問日と質問通告締め切り日期間を異様に長く求めている傾向が表れています。今期の日程で見ると、市長に自由なテーマで質問できる「一般質問」は議案が出された(2月14日)翌々日の(2月16日)正午が締め切りとされています。1分でも遅れると質問禁止となり、今まで幾人かの議員がその災難にあったことがあります。そして、議員が実際に質問するのは、3月14日から22日の間です。抽選(2月16日)で発言日程が決まります。これでは、職員がストレスがたまるのではなく、通告をした議員がその内容を忘れてしまうことが起きてくるでしょう。そのためか、最近では、質問と答弁が決まりきった内容の読み上げ的な議会発言が見受けられ、言葉の臨場感が薄らぐ傾向が出ています。実際の質問に当たって、その答弁に則したリアルな再質問となるように心がけたいと思います。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年10月末までに104名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。